

営農類型別統計調査票

(個人経営体用)

営農支援ツール
「アグリノート（ウォーターセル株式会社）」
を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部
経営・構造統計課

農林水産省

目 次

はじめに

「アグリノート」を用いた調査票の作成について	1
「アグリノート」でのグループ設定とデータの出力方法	2～5
出力データから記入可能な調査項目	6

調査票への記入

1：現況（共通項目）	7
2：損益計算書	8～15
3：貸借対照表	16～21
4：事業収入の概要	22、23
5：投資と資金調達の状況	24、25
6：主要固定資産の状況	26、27
7：土地面積	26、27
8：生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入	28～31
9：制度受取金、積立金等	32～35
10：労働の概要	36、37
11：指定品目に係る労働の概要	38、39
12：農業生産関連事業収支	40～43

＜記入上の注意事項＞

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りがないか、最後にもう一度ご確認ください。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。
※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

はじめに

「アグリノート」を用いた調査票の作成について

営農支援ツール「アグリノート」は、簿記会計ソフトではないため、決算書、貸借対照表、損益計算書等を入力することはできません。

「営農類型別経営統計調査票」に記入する場合は、お手持ちの「決算報告書」並びに「確定申告書」を参照してご記入ください。

【指定品目の設定について】

「アグリノート」では「指定品目」を、「圃場」「作付」「資産・人」のグループ名として登録することができます。

それぞれの項目は、「集計・出力」の際にグループごとに集計されますので、そのデータをご利用ください。

【アグリノートの出力データ】

「アグリノート」の出力データから記入できる、調査票の項目。

- 【6】 主要固定資産の状況
- 【7】 土地面積
- 【8】 生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入
- 【9】 制度受取金・積立金等
- 【10】 労働の概要
- 【11】 指定品目に係る労働の概要

はじめに

「アグリノート」でのグループ設定とデータの出力方法

指定品目のグループ設定

調査担当から「指定品目」の記入を依頼された場合には、指定された品目をグループとして事前に設定します。また、指定品目がない場合も、作物ごとにグループ設定をしておいてください。

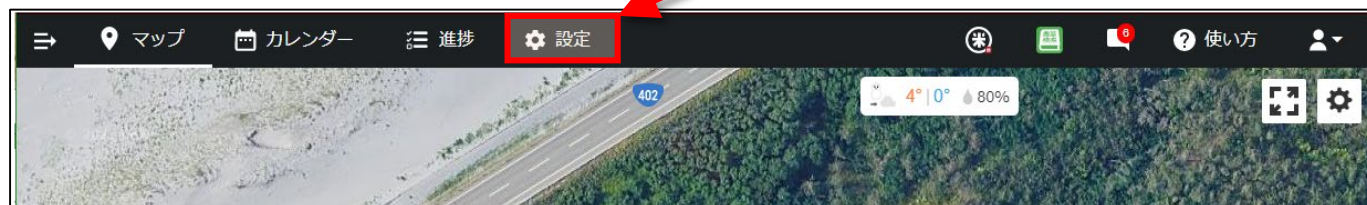
「アグリノート」の設定で、グループを作成する項目は、以下のとおりです。

- 基本項目
 1. 圃場・・・作物種類名でグループ名を設定します。（例：「稲」「麦」等）
 2. 作付・・・品種名でグループ名を設定します。（例：「コシヒカリ2020」「六条大麦2020」等）
- 記録
 3. 作業項目・・・作物種類名でグループ名を設定します。
 4. 生育項目・・・品種名でグループ名を設定します。
- 資産・人
 6. 機械・・・作物種類名でグループ名を設定します。
 7. 農薬・・・
 8. 肥料・・・
 9. 資材・・・
 10. 作業者・・・
 11. 土地情報・・・

※ 上記項目における、「グループ名」の設定は全て同じ手順になります。

【新規グループ設定手順】

1：「アグリノート」にログインしたら、下図  **設定** **「設定」** ボタンをクリックします。



2：「設定」ボタンをクリックすると下図左のように「サイドメニュー」が表示されます。この画面で、メニュー項目の「圃場」をクリックすると、下図右のメニューが開きます。さらに、 「+追加」ボタンをクリックします。



3：「追加」ボタンをクリックすると、上図のように追加項目の選択画面が開くので「グループを追加」をクリックします。すると下図の「グループ名の入力フォーム」が開くので、「グループ名」を入力します。

※ グループ名の入力が済んだら、必ず  「保存」ボタンをクリックしてください。

● グループ名の入力フォーム



はじめに

「アグリノート」でのグループ設定とデータの出力方法

調査票の記入に必要な集計データの出力方法

「アグリノート」では、設定・登録したデータや、日々記録する様々なデータを、期間を設定し集計・データ出力することができます。
集計データは、直接印刷することはできませんが、「CSV」もしくは「Excel」の形式で、集計データをダウンロードすることができます。

ここからは、データ集計とダウンロードの手順を解説していきます。

【データの集計・出力手順】

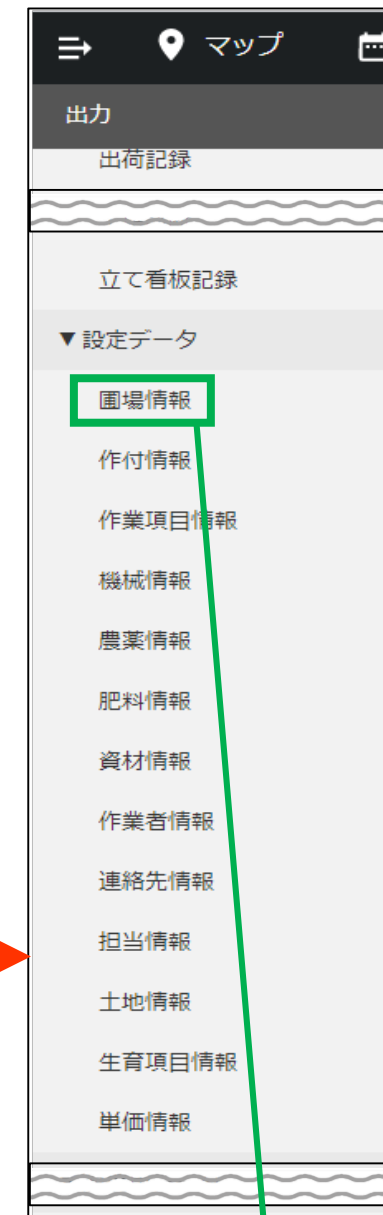
「アグリノート」の画面で、上部メニューバーを **設定** 「設定」以外にして、左端の **サイドメニュー表示ボタン** をクリックします。



● サイドメニュー



メニュー項目から **出力** 「出力」ボタンをクリックすると、出力メニュー（右ページ）が表示されます。



左図の「出力」メニューから、出力したい項目を選びデータをダウンロードします。

ここでは、「圃場情報」を例にとり、設定方法を説明します。

「設定データ」⇒「圃場情報」をクリックすると、下図の「期間、出力形式」を設定するフォームが表示されます。

ここで、「期間指定」⇒（調査票の調査対象期間）を入力、次に「出力形式」を選びます。この場合は Excel 形式を選択すると扱いやすいと思います。

更に **生成** ボタンをクリックし、「生成状態」の欄が「生成済みです」と表記されたら **ダウンロード** ボタンをクリックし、パソコンに保存してください。

※ 他の情報も同様に出力できます。

前回ファイル生成日時	生成状態	ダウンロード
2021-02-08 14:43:53	生成済みです	ダウンロード

はじめに

出力データから記入可能な調査項目

調査票の項目

【調査票の調査項目】

- 1 調査票は、【1】～【12】の項目に分かれています。
- 2 この中で、出力データから記入（転記）可能なものは、
【6】主要農業固定資産の状況～【11】指定品目に係る労働の概要になります。
- 3 これら以外の項目については、「アグリノート」から出力した帳票からは、記入できません。

<参考>

【1】現況（共通項目）：自法人の現況について記入願います。

【2】損益計算書：

【3】貸借対照表：

【4】事業収支の概要：

決算報告書等から転記します。

【5】投資と資金調達の状況：土地や農機具の購入金額、事業用に
借り入れた金額を記入します。

【6】主要農業固定資産の状況：固定資産の保有状況を記入します。

【7】土地面積：期末（12月31日）時点の土地の状況を記入します。

【8】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入：

農作物等の生産概況や販売収入などについて記入します。

【9】制度受取金・積立金等：国や地方公共団体などからの交付金
または、積立金を記入します。

【10】労働の概要：労働時間等について記入します。

【11】指定品目に係る労働の概要：指定品目に関する労働時間等
について記入します。

【12】農業生産関連事業収入：農業生産関連事業について記入します。

アグリノートの出力データを参照できます。

<調査票への記入にあたって>

記入が必要ない項目や、金額が発生しなかった項目には、「－」（バー）等を書き込んでおくと、書き漏れを防ぐことができます。

調査票 の記入

調査票 3 ページ

【1】現況（共通項目）

調査票 P3

1	青色申告を行っている	はい	いいえ
2	認定農業者がいる	はい	いいえ
3	農業研修生の受け入れがある	はい	いいえ

3で「はい」の方は、右の設問にも記入してください。

農業研修生		人数（人）
4	外国人技能実習生	
5	日本人研修生	

「概況」共通項目

「アグリノート」では対応しておりません。
営農類型別経営統計調査票（個人経営体用）「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【2】損益計算書（全体）

調査票 P4

① 収入金額

収入金額の詳細は、
10～11ページに記載しています。

科 目		説 明	金 額 (円)	うち市販品等の割合 (%)	科 目	説 明	金 額 (円)	うち市販品等の割合 (%)
収入金額	販売金額	農産物の販売額	997,200.00		経費	作業用衣料費	農作業に必要な衣類・靴・帽子等の購入費	3,600.00
	家事消費金額	家計で消費した金額、農業以外の事業で消費した金額	275,000.00			農業共済掛金	共済掛金、農用車両の保険料・共済掛金	2,800.00
	事業消費金額	作業受託、経営所得安定対策交付金、価格補填金、受取補助金	27,000.00			減価償却費	農用建物、構築物、農具具、生物等固定資産の減価償却費	763,086.10
	雑収入					荷造運賃手数料	販路に準じたダンボール、袋、紐等の代金、ライセンスター・共同運搬車の経費、運賃、陸揚料等	82,000.00
	小計	①販売金額、②家事消費金額、③事業消費金額、④雑収入合計	1,029,330.00			うち 市場手数料	農産物・市場等の販売手数料、集出荷団体の手数料等（市場までの輸送運賃、検査料、保管料等）	22,000.00
	農産物の期首⑤	農産物以外の期首棚卸高	145,000.00	19		（雇 入 費）	雇用関係労働者に支払った賃金	2,000,000.00
	棚卸高の期末⑥	農産物以外の期末棚卸高	164,300.00	18		利子引当金		13,800.00
	収入計	収入の合計（①～④＋⑤）	1,029,330.00			地代・賃借料		-
	租税公課	農業に係る固定資産税、印紙税、組合・部会費、支払消費税	72,150.00			土地賃借料		18,000.00
	種苗費	種子、苗の購入費	84,100.00	10		雑費	上記以外の費用	53,530.10
経費	畜養費	肥育又は育成の畜養やヒナの代金、種付料、登録料	42,900.00	15	うち 交際費	得意先や仕入先等の事業に関係のある者に対する接待、送迎、慰労、贈答等のための費用	25,000.00	
	肥料費	肥料の購入費	53,800.00	15	小計	④上記租税公課～経費までの経費の合計	480,455.20	
	飼料費	飼料の購入費	375,000.00	5	農産物以外の期首⑤	農産物以外の期首棚卸高	342,900.00	
	農具費	農具の購入費	28,600.00	5	棚卸高の期末⑥	農産物以外の期末棚卸高	306,000.00	
	農業費・衛生費	農業・畜産用品等の購入費、表面防除の資材金	34,750.00	7	経費から差し引く農用牛馬等の育成費用⑦	未成熟果樹、育成中等の育成に要した費用	1,000,000.00	
	諸材料費	生産に要したビニール、縄、おがくず等の購入費	38,700.00	7	経費合計	④+⑤-⑥-⑦	474,145.20	
	修繕費	農具機械、車両、建物等の修繕費	12,500.00	8				
	動力光熱費	水道料、電気料、燃油代金	270,515.10	10				

※ 飼料費から、配合飼料価格安定制度における補てん金分を除いていますか。

配合飼料価格安定制度における補てん金を、飼料費から減額している
入金額（雑収入）に仕訳している場合は「いいえ」を選んでください。

2 貸倒引当金及び専従者給与について、農林用税務申告書の損益計算書の繰入額等欄などから転記してください。

科 目	説 明	金 額 (円)
貸 倒 引 当 金	(繰入額－繰戻額)の金額	11000
専 従 者 給 与	専従者給与(繰入額)の金額	217000

③、④ 経費 1, 2

経費 1 の詳細は、12～13ページ
経費 2 の詳細は、14～15ページに
記載しています。

④ 経費 2

② 貸倒引当金 等

貸倒引当金や専従者給与の詳細は、
10～11ページに記載してあります。

② 貸倒引当金 等

青色申告決算書（農業所得用）

住 所		案種名	依頼協理士等	事務所所在地	
フリガナ 氏 名		農園名		氏 名 (名姓)	
		電話番号		電話番号	

令和 年 月 日 損 益 計 算 書 (自 1 月 1 日 至 12 月 31 日)

科 目		金 額 (円)	科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
収 入 金 額	販売金額	1	作業用衣料費	18	差 引 金 額 (7 - 35)	36
	家事消費 金額	2	農業共済掛金	19		
	事業消費		減価償却費	20	貸倒引当金	37
			荷造運賃手数料	21	準備金戻入	38
額	棚卸高 期 末	6	雇 人 費	22	計 専任者給与	
	計 (4 - 5 + 6)	7	利子割引料	23		
			地代賃借料	24		
経 費	租税 公課	8	④ 経費 2		各種引当金・準備金等	
	種 苗 費	9		28		
	畜 畜 費	10		29		
	肥 料 費	11	雑 費	30		
費	飼 料		小 計	31	青色申告特別控除前の 所得金額 (36 + 40 - 45)	46
	農 薬		農産物以外 の棚卸高 期 首	32	青色申告特別控除額	47
	農業衛生費	14	経費から差し引く果 樹牛馬等の育成費用	34	所 得 金 額 (46 - 47)	48
	諸材料 費	15	計 (31+32-33-34)	35	48のうち、肉用牛について 特例の適用を受ける金額	
	修 繕 費	16			◎ 青色申告特別控除については、「決算の手引き」 の「青色申告特別控除」の項を読んでください。	
	動力光熱費	17				

◎ 青色申告特別控除については、「決算の手引き」の「青色申告特別控除」の項を読んでください。

それぞれの項目に転記

収支内訳書（農業所得用）

住 所		業種名		依 頼 税 理 士 等	事務所 所在地	
		農園名			氏 名 (名称)	
刀耕火 氏 名	印	電 話 番 号			電 話 番 号	

令和 年 月 日 (年 月 日 至 年 月 日) ○個人費の申請

科

目

金額 (円)

販売金額1

客室消費
集金消費2

雑収入3

小計4

収入

① 収入金額

科

目

金額 (円)

修繕費リ

動力光熱費ヌ

作業用衣料費ル

農業共済掛金ヘ

荷造運賃手数料ワ

土地改良費カ

その他ヨ

経費

④ 経費 2

科

目

金額 (円)

雇人費8

小作料・賃借料9

減価償却費10

貸倒金11

利子割引料12

経費

③ 経費 1

科

目

金額 (円)

租税公課イ

種苗費ロ

委託費ハ

雑費ニ

除菌剤以外の
農薬類ネ

施設等から受ける果樹園
中継金の返還金ナ

小計
(イ～ネまでの計＝ナール)13

延費額
(8～12までの計＋13)14

専従者控除15

所得金額
(15～19)16

17

費用

② 貸倒引当金

氏名・住所又は作業場

日数

現金
現物

合計

所得税及び消費税別
所得税の額を徴収税額

基日

円

円

円

その他
(人分)

計

○雇入者の内訳

支払先の住所・氏名

小作料・賃借料等の額

面積・数値

支払額

円

○事業専従者の氏名等

氏名 (敬称)

続柄

居る日数

(歳)

延べ請求日数

0

基日請求日数

0

② 貸倒引当金 等

【2】損益計算書 ①（収入金額） ②（貸倒引当金 等）

調査票 P4

① 収入金額

科 目	説 明	金 額 (円)	うち指定 品目の割 合(%)
収 入 金 額			
販 売 金 額	農畜産物の販売額	9972000	
家事消費金額・ 事業消費金額	家計で消費した金額、農業以外の事業で消費した金額	275000	
雑 収 入	作業受託、経営所得安定対策交付金、価格補填金、受取 共済金	27000	
小 計 ①	販売金額、家事消費・事業消費金額、雑収入の合計	10274000	
農産物の 棚卸高	期 首 ② 農産物の期首棚卸高	145000	2.9
	期 末 ③ 農産物の期末棚卸高	164300	2.8
収 入 計	収入の合計 (①-②+③)	10293300	

★ 農産物の棚卸高における指定品目の割合について
「指定品目」がある方は、「うち指定品目の割合 (%)」欄に、出力した
「部門別実績表」から割合を記入してください。

② 貸倒し引当金 等

2 貸倒引当金及び専従者給与について、農業用税務申告書の損益計算書の繰入額等欄 などから転記してください。		
科 目	説 明	金 額 (円)
貸 倒 引 当 金	(繰入額-繰戻額) の金額	11000
専 従 者 給 与	専従者給与 (繰入額) の金額	2170000

収支内訳書から転記する場合

調査票「貸倒引当金」欄には、収支内訳書⇒経費⇒「貸倒金 ⑪」の金額を「専従者給与」
欄には、収支内訳書⇒経費⇒「専従者控除 ⑫」の金額を転記してください。

青色申告決算書（農業所得用） 収支内訳書

調査票「収入金額」については、青色申告決算書（損益計算書）及び収支内訳書と同じ書
式になっていますので、そのまま転記してください。

科 目	金 額 (円)	科
販売金額	9,972,000	作業用衣料費
家事消費 事業消費 金額	275,000	農業共済掛金
雑 収 入	27,000	減価償却費
小計 (1 + 2 + 3)	10,274,000	荷造運賃手数料
農産物の 棚卸高	期 首 145,000	雇 人 費
	期 末 164,300	利子割引料
計 (4 - 5 + 6)	10,293,300	地代賃借料
		土地改良費
租税 公課		

青色申告決算書（農業所得用） 貸倒引当金及び専従者給与

調査票「貸倒引当金 等」については、青色申告決算書（損益計算書）から、下表のように
転記してください。

金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
	差 引 金 額 (7 - 35)	36
	貸倒引当金	37 A 55,000
	準備金戻入	38
		39
	計	40 55,000
	専従者給与	41 2,170,000
	貸倒引当金	42 B 66,000
	準備金繰入	43
		44
	計	45 2,236,000
	青色申告特別控除前の 所得金額	46

※ B - A の値を記入

【2】損益計算書 ③（経費 1）

③ 経費 1

調査票 P4

科 目	説 明	金 額（円）	うち指定 品目の割 合(%)
租 税 公 課	農業に係る固定資産税、印紙税、組合・部会費、支払消費税	72,150	
種 苗 費	種子、苗の購入費	84,000	10
素 畜 費	肥育又は育成の素畜やヒナの代金、種付料、登録料	429,000	
肥 料 費	肥料の購入費	538,000	15
飼 料 費	飼料の購入費	375,000	
農 具 費	取得価額が10万円未満の農業機械、農具等	286,000	10
農薬費・衛生費	農薬・家畜薬品等の購入費、共同防除の負担金	347,500	10
諸 材 料 費	生産に要したビニール、縄、おがくず等の購入費	387,000	10
修 繕 費	農業機械、車両、建物等の修理費	125,000	10
動力光熱費	水道料、電気料、燃油代金	270,515	10

経費（内訳項目）の指定品目の割合（A部分）の記入について

指定品目の割合欄（A部分）は、「部門別集計実績表」から転記します。

自 平成31年 1月 1日
至 平成31年12月31日

部門別実績集計表（損益計算書）

A % : 売上対比 %
B % : 科目合計対比 %
平成31年 8月 5日

勘定科目	稲作部門	A %	B %	野菜	A %	B %	共通部門	A %	B %
《経常損益の部》									
[経常損益の部]									
【売上高】									
売 上 高	39,566,650	100	100	0	0	0	0	0	0
作業受託収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家事消費高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業消費高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期首農産物棚卸高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期末農産物棚卸高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上高 計	39,566,650	100	100	0	0	0	0	0	0
【生産原価】									
期首農産物以外棚卸高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種 苗 費	542,692	1	100	0	0	0	0	0	0
肥 料 費	2,360,426	6	100	0	0	0	30,000	0	1
農 薬 費	467,029	1	100	0	0	0	0	0	0
動力光熱費	0	0	0	0	0	0	1,008,259	0	100
諸材料 費	583,974	1	100	0	0	0	0	0	0
農 具 費	0	0	0	0	0	0	2,004,000	0	100
修 繕 費	0	0	0	0	0	0	170,000	0	100

この部分を転記します

経費 1 青色申告決算書（農業所得用）

調査票「経費」については、青色申告決算書（損益計算書）及び収支内訳書と同じ書式になっていますので、そのまま転記してください。

	(4 - 5 + 6)	7		
経	租 税 公 課	8	72,150	
	種 苗 費	9	84,000	
	素 畜 費	10	429,000	
	肥 料 費	11	538,000	費 雑
	飼 料 費	12	375,000	
	農 具 費	13	286,000	農
	農薬衛生費	14	347,500	
費	諸材料 費	15	387,000	経費
	修 繕 費	16	125,000	樹牛
	動力光熱費	17	270,515	計

経費 1 収支内訳書（農業所得用）

	利子割引料	12	
そ	租 税 公 課	イ	72,150
の	種 苗 費	ロ	84,000
他	素 畜 費	ハ	429,000
の	肥 料 費	ニ	538,000
経	飼 料 費	ホ	375,000
費	農 具 費	ヘ	286,000
	農薬衛生費	ト	347,500
	諸材料 費	チ	387,000
	修 繕 費	リ	125,000
	動力光熱費	ヌ	270,515

青色申告決算書（損益計算書）と同じく転記できますが、収支内訳書の場合は「修繕費」と「動力光熱費」が別の列になっていますので、記入の際には転記元を間違えないよう注意願います。

収支内訳書（農業所得用）左表の①～⑧が該当箇所になります。

【2】損益計算書 ④（経費 2）

調査票 P5

④ 経費 2

指定品目名		露地キャベツ				
科 目		説 明		金 額 (円)		うち指定 品目の割 合 (%)
経 費 (続 き)	作 業 用 衣 料 費	農作業に必要な衣類・靴・帽子等の購入費		36000	0	0
	農 業 共 済 掛 金	共済掛金、農用車両の保険料・共済掛金		28000	0	0
	減 価 償 却 費	農用建物、構築物、農機具、生物等固定資産の減価償却費		763086	0	0
	荷 造 運 賃 手 数 料	販売に要したダンボール、袋、紐等の代金、ライセンスター・共同選果場の料金、運賃、検査料等		82000	0	5
	うち 市場手数料	農協・市場等の販売手数料、集出荷団体の手数料（市場までの輸送運賃、検査料、保管料等）		22000	0	0
経 費 (続 き)	雇 人 費	雇用労賃及び賄い費・交通費		290000	0	20
	利 子 割 引 料	借入金利息、手形割引料、債務保証料		138000	0	0
	地 代 ・ 賃 借 料	農地代、農用建物代金、農機具等の使用代金		-	-	-
	土 地 改 良 費	客土・揚排水施設等の維持管理費		18000	0	0
	雑 費	上記以外の費用		535301	0	0
経 費 (続 き)	うち 交際費	得営先や仕入先等の事業に関係のある者に対する接待、供応、慰安、贈答等のための費用		25000	0	0
	小 計 ④	上記租税公課〜雑費までの経費の合計		4804552	0	0
	農産物 以外の 棚卸高	期 首 ⑤	農産物以外の期首棚卸高	342900	0	0
	期 末 ⑥	農産物以外の期末棚卸高	306000	0	0	0
	経費から差し引く果樹牛馬等の 育成費用 ⑦	未成熟果樹、育成牛等の育成に要した費用		100000	0	0
経 費 合 計		④+⑤-⑥-⑦		4741452	0	0

「経費の指定品目の割合の考え方」を参照

荷造運賃手数料、雑費の記入について

1. 「荷造運賃手数料」について

- ア 青色申告決算書、収支内訳書の任意勘定科目記入欄に「市場手数料」を記載している方は、「うち、市場手数料」に金額をそのまま記入してください。また、「荷造運賃手数料」欄に任意勘定科目記入欄の「市場手数料」を加算して記入してください。
- イ 青色申告決算書、収支内訳書の「荷造運賃手数料」欄に「市場手数料」を含んで記載している方は、「荷造運賃手数料」に金額をそのまま記入してください。また、「うち、市場手数料」欄に、荷造運賃手数料に含まれている市場手数料分を記入してください。

2. 「雑費」について

- ア 青色申告決算書、収支内訳書の任意勘定科目記入欄に「交際費」を記載している方は、「うち、交際費」に金額をそのまま記入してください。また、「雑費」欄に任意勘定科目記入欄の「交際費」を加算して記入してください。
- イ 青色申告決算書、収支内訳書の「雑費」欄に「交際費」を含んで記載している方は、「雑費」欄に金額をそのまま記入してください。また、「うち、交際費」欄に、「雑費」に含まれている交際費分を記入してください。

経費 2 青色申告決算書（農業所得用）

科 目	金 額 (円)
作業用衣料費	36,000
農業共済掛金	28,000
減価償却費	763,086
荷造運賃手数料	82,000
雇 人 費	290,000
利子割引料	138,000
地代賃借料	-
土地改良費	18,000
（任意勘定科目記入欄） 出力帳票のこの欄に整理している項目がある場合には、調査票に転記する際に「雑費」に加算してください。	
雑 費	535,301
小 計	4,804,552
農産物以外 の棚卸高	342,900
期 首	306,000
期 末	100,000
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	4,741,452
計 (31+32-33-34)	4,741,452

経費については、「青色申告決算書」の損益計算書（右表）と同じ書式となっていますので、そのまま転記してください。

ただし「荷造運賃手数料」及び「雑費」の記入については、14ページの「荷造運賃手数料、雑費の記入について」をご覧ください。

経費 2 収支内訳書（農業所得用）

青色申告決算書（農業所得用）と同じく転記できますが、収支内訳書の場合は転記項目が、右表のように点在します。記入の際には転記元を間違えないよう注意願います。

収支内訳書（農業所得用）の⑧～⑩、⑫、⑭、⑯～㉑、㉓～㉕が転記該当箇所になります。

科 目	金 額 (円)
修 繕 費	リ
動力光熱費	ヌ
作業用衣料費	ル 36,000
農業共済掛金	28,000
荷造運賃手数料	ワ 82,000
土地改良費	カ 18,000
他	ヨ
の	タ
の	レ
の	ソ
経 費	ツ 535,301
農産物 以外の 棚卸高	期首 ネ 342,900
期末 ナ 306,000	
経費から差し引く果樹牛馬等の育成費用	ラ 100,000
小 計 (イ～ネまでの計+13)	13 4,804,552
経 費 計 (8～12までの計+13)	14 4,741,452
専従者控除前の所得金額 (7-14)	15
所 得 金 額 (15-16)	16
17のうち、肉用牛について特例の適用を受ける金額	17

※ 収支内訳書の場合は「小作料・賃借料」欄を、調査票の「地代・賃借料」欄に転記してください。

【3】貸借対照表①（作成している場合）

調査票 P6

1 貸借対照表を作成している場合

(1) 資産

科 目	説 明	期末(12月31日) (円)					
		億	万	千	百	十	
現 金	農業経営の現金		1	8	6	0	
普通預金	農業経営の預金		3	1	5	0	
定期預金	農業経営の定期預金		1	3	0	5	
その他の預金	積立金等						
売掛金	農畜産物販売金額の未収金		1	2	0	0	
未収金	農畜産物販売金額以外の未収金						
有価証券	農業経営所有の有価証券						
農産物等	農畜産物棚卸高(事業・家事消費費用を含む)		1	6	4	3	
未収穫農産物等	立毛作物の棚卸高		1	6	1	0	
未成熟の果樹 育成中の牛馬等	果樹の育成費用、乳牛・肉用牛等の育成費用		3	3	5	0	
肥料その他の貯蔵品	貯蔵品(肥・飼料、農業、燃料諸材料等)の棚卸高		1	4	5	0	
前払金	費用、資産購入等の代金の前払金						
貸付金	農業経営の貸付金						
建物・構築物	農業経営用建物・構築物の未償却残高		1	6	5	1	
農機具等	農業用機械等の未償却残高			5	3	2	
果樹・牛馬等	果樹と牛馬の未償却残高			3	2	5	
土地	農業経営用の農地等の固定資産評価額		7	5	0	0	
土地改良事業受益者負担金	土地改良事業による受益者負担金の額						
	(任意勘定科目欄)						
事業主貸	農業所得の収入金額・負債とならない収入		2	5	2	3	
合 計			1	6	3	4	

科 目	説 明	期末(12月31日) (円)					
		億	万	千	百	十	
買掛金	原材料等の購入代金の未払金		5	3	0	0	
借入金	経営のために銀行やＪＡなどから借り入れた金額		1	1	9	0	
うち長期借入金	借入金のうち返済期限が1年を超える借入金		1	0	0	0	
未払金	買掛金以外の未払金						
前受金	生産物の販売を前提にした予約金等						
預り金	専従者給与の源泉所得税の預り金等の債務		6	0	0	0	
	(任意勘定科目欄)						
貸倒引当金	売掛金回収不能に備えた積立金		6	6	0	0	
	(任意勘定科目欄)						
事業主借	農業所得の必要経費・資産とならない支出		3	0	7	5	
元入金			1	1	3	5	
青色申告特別控除前の所得金額			3	3	7	0	
合 計			1	6	3	4	

※ 税務申告に際し、貸借対照表を作成している場合はこのページ（6ページ）の表を、作成していない場合は右ページ（7ページ）の表を使用し、各勘定科目の金額を転記してください。

青色申告決算書（農業所得用）

青色申告決算書を作成されている方は、そのまま転記することができますので、任意勘定科目欄を含めて転記してください。

なお、借入金のうち**長期借入金**については、「青色申告決算書」の貸借対照表に記載がありませんので、**返済期限が1年を超えるもの**を記入してください。

＜長期借入金とは＞

農業経営のための金融機関等からの借入金のうち、返済期限が1年を超える借入金の合計額を記入してください。

「農業経営基盤強化資金（スーパーL）」「経営体育成強化資金」「担い手育成農地集積資金」「農業改良資金」「農業経営負担軽減支援金」「農業近代化資金」等の制度資金のほか、農協や銀行からの長期融資が該当します。

貸借対照表

J. 貸倒引当金繰入額の計算

(現金主義によっている人は、記入しないでください。)

令和元年分以降用

		金 額
個別評価による本年分繰入額 (「個別評価による貸倒引当金に関する明細書」の(15)欄の金額を書いてください。)		(イ)
一括評価による本年分繰入 額	年末における一括評価による貸倒引当金の繰入れの対象となる貸金の合計額	(ロ)
	本年分繰入限度額 (ロ× 5.5 %)	(ハ)
	本 年 分 繰 入 額	(ニ)
本年分の貸倒引当金繰入額 (イ+ニ)		(ホ)

K. 青色申告特別控除額の計算

(この計算に当たっては、「決算の手引き」の「青色申告特別控除」の項を読んでください。)

本 年 分 の 不 動 産 所 得 の 金 額 (青色申告特別控除額を差し引く前の金額)		(ア) (赤字のときは0) 円
青色申告特別控除前の事業所得の金額 (1ページの「損益計算書」の(46)欄の金額を書いてください。)		(イ) (赤字のときは0)
65万円の 青色申告 特別控除を 受ける場合	65万円と(ハ)のいずれか少ない方の金額 (不動産所得から差し引かれる青色申告特別控除額です。)	(フ)
	青 色 申 告 特 別 控 除 額 (65万円-(フ))と(イ)のいずれか少ない方の金額	(ク)
上 記 以 外 の 場 合	10万円と(ハ)のいずれか少ない方の金額 (不動産所得から差し引かれる青色申告特別控除額です。)	(フ)
	青 色 申 告 特 別 控 除 額 (10万円-(フ))と(イ)のいずれか少ない方の金額	(ク)

L. 本年中における特殊事情

貸 借 対 照 表

(資産負債調)

(令和 2 年 12 月 31日現在)

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部		
科 目	1 月 1 日(期首)	12 月 31 日(期末)	科 目	1 月 1 日(期首)	12 月 31 日(期末)
現 金	183,800	186,600	買 掛 金	45,000	53,000
普通 預金	452,000	315,000	借 入 金	1,350,000	1,190,000
定期 預金	2,000,000	1,305,000	未 払 金		
その他預金			前 受 金		
売 掛 金	1,000,000	1,200,000	預 り 金	0	6,000
未 収 金			基盤強化準備金		
有価 証券					
農産物 等	145,000	164,300			
未収穫農産物等	224,000	161,000			
育成中の果樹・牛馬	275,000	335,000			
肥料その他貯蔵	118,900	145,000			
前 払 金					
貸 付 金					
建物・構築物	549,600	1,651,210	貸倒引当金	55,000	66,000
農機具 等	10,000	532,100			
果樹・牛馬等	342,654	325,858			
土 地	7,500,000	7,500,000			
土地改良受益者負担金					
保険積立金					
			事 業 主 借		307,510
			元 入 金	11,350,954	11,350,954
事 業 主 貸		2,523,244	青色申告特別控除前の所得金額		3,370,848
合 計	12,800,954	16,344,312	合 計	12,800,954	16,344,312

⑥ 5万円の青色申告特別控除を受ける人は必ず記入してください。それ以外の人でも分かる箇所はできるだけ記入してください。

(注)「元入金」は、「期首の資産の総額」から「期首の負債の総額」を差し引いて計算します。

※ 貸借対照表を作成していない場合は、
18～21ページをご覧ください。

【3】貸借対照表 ②（作成していない場合 1）

調査票 P7

2 貸借対照表を作成していない場合（貸借対照表相当の勘定科目の把握）

（1）資産に該当する勘定科目（※ ①、②、③、④～⑦は、必須項目です）

科 目	説 明	期末(12月31日) (円)
① 現 金	農業経営の現金を記入してください。	1 8 6 6 0 0
② 預 貯 金 等	本欄（預貯金等の合計）②が記入できる場合は、②-1～②-6の記入の必要はありません。	1 6 2 0 0 0
普 通 預 金 ②-1	農業経営の普通預金	3 1 5 0 0 0
定 期 預 金 ②-2	農業経営の定期預金	1 3 0 5 0 0
そ の 他 の 預 金 ②-3	積立金等	
有 価 証 券 ②-4	農業経営所有の有価証券	
前 払 金 ②-5	費用、資産購入等の代金の前払金	
貸 付 金 ②-6	農業経営の貸付金	
③ 売 掛 未 収 入 金	本欄（売掛未収入金の合計）③が記入できる場合は、③-1、③-2の記入の必要はありません。	1 2 0 0 0 0
売 掛 金 ③-1	農畜産物販売金額の未収金	1 2 0 0 0 0
未 収 金 ③-2	農畜産物販売金額以外の未収金	
④ 建 物 ・ 構 築 物	農業経営用建物・構築物等の未償却残高	1 6 5 1 2 1 0
⑤ 農 機 具 等	農業用機械等の未償却残高	5 3 2 1 0 0
⑥ 果 樹 ・ 牛 馬 等	果樹と牛馬の未償却残高	3 2 5 8 5 8
⑦ 土 地 (⑦-2 以外) ⑦-1	農業経営用の農地等の固定資産評価額（土地改良事業受益者負担を含む。）	7 5 0 0 0 0
貸 付 地 ⑦-2	貸付地の固定資産評価額	
資 産 合 計		1 3 0 1 5 7 6 8

現 金

農業経営のための現金及び通貨代用証券の金額を記入してください。
例) 小口現金、手元にある当座小切手、送金小切手、預金小切手、郵便為替証券など

預貯金等

農業経営のための「普通預金」「定期預金」「その他の預金」「有価証券」「前払金」「貸付金」の合計額を記入してください。
・その他の預金・・・「通知預金」「納税準備預金」「出資予約預金」「貯蓄預金」「別段預金」「金銭信託」等
・有 価 証 券・・・「株式」「社公債」「投資信託」「貸付信託」等の売買目的及び一年以内に満期の到来するもの。
※ 市場性のないもの、長期保有目的のものもは含みません。

売掛未収入金

「売掛金」は、農産物を販売したものの、代金を受領していないもの、「未収金」は、農産物以外を販売したものの、代金を受領していないものであり、「売掛金」と「未収入金」を合算して記入ください。

固定資産の必須調査項目が合算されている場合

固定資産の④「建物・構築物」、⑤「農機具」及び⑥「果樹・牛馬等」について、④、⑤、⑥が合算されている場合は、収支内訳書のうち「減価償却の計算」（明細書）から、建物、機械装置、備品、車両運搬具などの資産ごとの「未償却残高」を用いて、種類ごとの金額を計算して記入してください。
※ 明細がない場合は、固定資産台帳を参考にしてください。

○ 減価償却の計算

減価償却資産 の名称等 (繰延資産を含む)	面積 又は 数量	取得 (成金) 年月	(イ) 取得価額 (償却保証額)	(ロ) 償却の基礎 になる金額	償却 方法	耐用 年数	(ハ) 償却率 又は 改定償却率	(ニ) 本年 中の 償却 額	(ホ) 本 年 普通 (ロ× ハ)	(セ) 本年分の必要 経費算入額 (ト×ホ)	(シ) 未償却残高 (期末残高)	備 考
作 業 場		年 月	() 円	円		年		月				
農 機 具 等 車 庫			()					12				
ビニールハウス (構築物以外：畜舎等)			()			10		12				
			()					12				
			()					12				
トラクター			()			7		12				
田 植 機			()			7		12				
コンバイン			()			7		12				
乾 燥 機			()			7		12				
稲 刈 機			()			7		12				
耕 う ん 機			()			7		12				
軽トラック			()			4	0.250	12				
トラック			()			5	0.200	12				
一括償却資産			()			-	1/3	12				

※ 金額そのものが不明な場合は、それぞれの減価償却費を転記してください。

必須項目、枝番等について

資産に該当する勘定科目は、①、②、③、④～⑦の黄色の箇所について必ず記入してください。

なお、流動資産の「② 預貯金等」「③ 売掛未収入金」を記入するにあたっては、枝番を記入することが便利な場合は、使用してください。

※ 必須項目において、記入できない項目があった場合は、農林水産省職員、または専門調査員にその旨をお伝えください。

【3】貸借対照表 ③（作成していない場合2）

調査票 P7

(2) 負債に該当する勘定科目（※ ⑧～⑭、⑭は、必須調査項目です）

科 目		説 明	期 末 (12月31日) (円)					
負 債	⑧ 流 動 負 債		億	万	千	百	十	
	⑨ 買 掛 金	原材料等の購入代金の未払金		2	4	3	0	0
	⑩ 短 期 借 入 金	経営のために銀行やＪＡなどからの借入金のうち返済期限が1年以内に到来する借入金			5	3	0	0
	⑪ 未 払 金	買掛金以外の未払金			1	9	0	0
	⑫ 前 受 金	生産物の販売を前提にした予約金等						
	⑬ 預 り 金	専従者給与の源泉所得税の預り金等の債務						
負 債	⑭ 長 期 借 入 金	経営のために銀行やＪＡなどからの借入金のうち返済期限が1年を超える借入金			1	0	0	0
	負 債 合 計				1	2	4	3

負債に該当する勘定科目 収支内訳書（農業所得用）

⑧ 「流動負債」は、農業経営のために、1年以内に支払いや返済する必要のある負債の合計額を記入してください。（⑨～⑬が内訳となります。）

⑨ 「買掛金」は、原材料（肥料や飼料などの生産資材）等の購入代金の未払金を記入してください。

⑩ 「短期借入金」は、農業経営のために金融機関等からの借入金のうち返済期限が1年以内（期末における金融機関貸越し、家族借入れも含みます）の借入金を記入してください。

⑪ 「未払金」は、⑨以外の未払金

⑬ 「預り金」は、専従者給与の源泉所得税の預り金等の債務です。

※ ⑪～⑬あ、記入する必要はありませんが、⑧の流動資産を記入する際に記入したほうが便利な方は記入してください。

⑭ 「長期借入金」は、農業経営のための金融機関等からの借入金のうち、返済期限が1年を超える借入金の合計額を記入してください。
「農業経営基盤強化資金（スーパーL）」「経営体育成強化資金」
「担い手育成農地集積資金」「農業改良資金」「農業経営負担軽減支援金」
「農業近代化資金」等の制度資金のほか、農協や銀行からの長期融資が該当します。

【4】事業収支の概要

調査票 P8

1 事業収支について

科 目		説 明	金 額 (円)				
収 入 金 額	事 業 等 ①	卸売業、製造業、小売業、林業、漁業など農業以外の事業の収入	億	万	千	百	十
	農 業 ②	農業収入	1	7	6	1	0
	不 動 産 ③	不動産収入	0	2	9	3	0
	収入金額計 ④	①+②+③	1	2	0	5	4
所 得 金 額	事 業 等 ⑤	農業以外の事業の収入から、その事業に投じた費用を差し引いた金額	4	4	4	0	0
	農 業 ⑥	農業収入から、農業に投じた費用を差し引いた金額	2	7	2	0	8
	不 動 産 ⑦	不動産収入から不動産に投じた費用を差し引いた金額					
	所得金額計 ⑧	⑤+⑥+⑦	3	1	6	4	8
経 費 ⑨		④-⑧	8	8	8	9	4

2 山林の所得がある場合

科 目	説 明	金 額 (円)				
収 入 金 額 (山 林)	山林を売却、譲渡、伐採した際に生じた収入	億	万	千	百	十
所 得 金 額 (山 林)	山林収入から伐採などに掛かった費用を差し引いた金額	2	7	4	0	0

事業収支 確定申告書 B

事業収支の収入金額は、所得税の「確定申告書 B」第一表の、収入金額等の事業、不動産（右表の①）から転記してください。

また、所得金額は所得金額の事業、不動産（右表の②）から転記してください。

収 入 金 額 等	事 業 等 ①	1	7	6	1	0	0	0
	農 業 ②	1	0	2	9	3	3	0
	不 動 産 ③							
	収入金額計 ④							
所 得 金 額	事 業 等 ⑤							
	農 業 ⑥							
	不 動 産 ⑦							
	所得金額計 ⑧							

山林の所得 申告書（分離課税用）

山林の所得がある場合は、申告書（分離課税用）第三表の、収入金額の山林（右表の③）から転記してください。

また、所得金額（山林）は、所得金額の山林（右表の④）から転記してください。

収 入 金 額	短 期 譲 渡 一 般 分 ①							
	短 期 譲 渡 特 定 分 ②							
	長 期 譲 渡 一 般 分 ③							
	長 期 譲 渡 特 定 分 ④							
所 得 金 額	短 期 譲 渡 一 般 分 ⑤							
	短 期 譲 渡 特 定 分 ⑥							
	長 期 譲 渡 一 般 分 ⑦							
	長 期 譲 渡 特 定 分 ⑧							

【5】投資と資金調達の状況

調査票 P8

1 経営する事業への投資の状況

科 目	説 明	金 額 (円)	農業割合 (%)
投 資	土 地 土地の購入金額	1 0 0 0 0 0 0 0	1 0 0
	建 物 ・ 構 築 物 建物・構築物の購入金額	3 3 0 0 0 0 0 0	7 0
	自 動 車 ・ 農 機 具 自動車・農機具の購入金額	1 0 0 0 0 0 0 0	8 0
	植 物 ・ 牛 馬 植物・牛馬の購入金額（資産形成のものに限る。）	5 0 0 0 0 0 0 0	1 0 0

2 事業経営のために1年間（決算期間）に借り入れた金額

科 目	説 明	金 額 (円)	農業割合 (%)
短 期 借 入 金	返済期限が1年以内の借入金	1 9 0 0 0 0 0 0	1 0 0
長 期 借 入 金	返済期限が1年を超える借入金	1 0 0 0 0 0 0 0	8 3

投資における販売に供するための動物等の扱い

肥育用として購入した牛馬は、肥育・育成してそれ自体を販売する目的で飼育することから資産とならないため、「植物・牛馬」に含みません。

投資（固定資産の購入）

この項目は、1年間（決算期間）の事業とそのうち農業への投資を把握する項目です。
家計のみに使用するものの、購入については含みません。

それぞれの項目について事業に投資した金額、またそのうち農業については、土地の農地割合、建物等の使用割合、農機具等の稼働割合など、項目ごとに適切な割合で記入してください。

資金調達（借入金）

この項目は、1年間（決算期間）の事業とそのうち農業への資金調達を把握する項目です。
家計のみに使用する借り入れについては含みません。

事業用に借り入れた金額、またそのうち農業に使用した分については、農業用融資の金額を、事業全体から割り出し、その割合を記入してください。

<長・短期借入金とは>

「短期借入金」とは・・・農業経営のために金融機関等からの借入金のうち、返済期限が1年以内の借入金を言います。
(期末における金融機関貸越、家族借入も含みます)

「長期借入金」とは・・・農業経営のために金融機関等からの借入金のうち、返済期限が1年を超える借入金を言います。
(期末における金融機関貸越、家族借入も含みます)
「農業経営基盤強化資金（スーパーL）」「経営体育成強化資金」
「担い手育成農地集積資金」「農業改良資金」「農業経営負担軽減支援金」
「農業近代化資金」等の制度資金のほか、農協や銀行からの長期融資が該当します。

【6】 主要農用固定資産の状況、【7】 土地面積

調査票 P9

1 建物・構築物の状況

区 分	面積 (㎡)
納 屋 ・ 倉 庫	450
ガ ラ ス 室	20
ハ ウ ス (ガ ラ ス 室 以 外)	147
畜 舎 ・ 鶏 舎	146

※ 乗用車：3、5、7ナンバー
トラック（貨物車）：1、4、6ナンバー
（ダンプカーはここに分類します）

2 公課諸負担

区 分	説 明	台 数 (台)
乗 用 車	軽自動車を含む。	2
ト ラ ッ ク	軽トラックを含む。	2
乗 用 型 ト ラ ク タ ー	歩行型トラクターを除く。	1
うち 50 馬 力 以 上		1
ブ ラ ウ 、 代 か き 機 等	耕うん整地用機具	1
抜 根 機 、 心 土 破 砕 機 等	耕土造成改良用機具	1
田 植 機 、 中 耕 除 草 機 等	栽培管理用機具	1
散 粉 機 、 噴 霧 機 等	防除用機具	2
コ ン バ イ ン 、 脱 穀 機 等	穀類収穫調整用機具	1
モ ー ア 、 ヘ ー ベ ー ラ ー 等	飼料作物収穫調整用機具	2
洗 淨 機 、 掘 取 機 等	果樹、野菜又は花き収穫調整用機具	2
い 草 刈 取 機 、 粒 選 機 等	その他の農作物収穫調整用機具	-
選 別 機 、 荒 茶 ・ 仕 上 茶 製 造 機 等	農産物処理加工用機具	-
給 餌 機 、 搾 乳 機 等	家畜飼養管理用機具	-

【7】 土地面積

区 分	説 明	経 営 面 積				うち借入地面積			
田	田全体の面積と、このうち他から借り入れている面積	ha	a	ha	a	ha	a	ha	a
畑 (普 通 畑)	畑（樹園地、牧草地を除く）全体の面積と、このうち他から借り入れている面積	5	4	7		1	6	2	
樹 園 地	樹園地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積	4	3			1	2		
牧 草 地	牧草地全体の面積と、このうち他から借り入れている面積	2				1			
採 草 放 牧 地	採草放牧地の面積	-							
貸 付 地 (耕 地)	他の経営体に貸し付けた耕地の面積（所有地分のみ）	1	9	2					

＜耕作放棄地とは＞

以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付けせず、この数年の間に再び作付けする考えのない土地を言います。

建物・構築物の状況、公課諸負担

- 「1 建物・建築物の状況」については、面積を記入してください。面積は延べ面積とし、建築面積（建坪面積であって軒下の面積は含めない）に2階以上の床面積を加えたものとします。
- 「2 自動車・農機具の保有状況」は台数を記入してください。
トラクターを3戸で共同所有している場合は、戸数で割って「0.3台」としてください。
※ 固定資産が多数ある場合は、青色申告決算書の「減価償却費の計算」ページや、「アグリノート」の「圃場情報、土地情報、単価情報」を参照して記入してください。

減価償却費の計算（青色申告決算書）

減価償却資産 の 名 称 等 (繰延資産を含む)	面積 又は 数量	取得 (成熟) 年 月	(イ) 取得価額 (償却保証額)	(ロ) 償却の基礎 になる金額	償却 方法	(ハ) 未償却残高 (期末残高)	摘 要
納屋	1	H17・9	130,000	117,000	旧定額	0	除却
車庫(4戸で共同所有)	1	S55・8	130,000	117,000	旧定額	13,000	
倉庫	1	H27・2	300,000	300,000	定額	181,075	
納屋(新築)	1	R 2・3	300,000	300,000	定額	275,000	

●アグリノート出力データ：「単価情報」

単価ID	項目分類	項目ID	項目名	購入量 (数値)	購入量 (単位)	金額	単価 (数値)	単価 (単位)	適用開始日
	資材		納屋	1		130,000			2005/9/1
	資材		車庫（4戸で共同所有）	1		130,000			1980/8/1
8104	資材	19291	ビニールハウス（育苗用）	1		300,000			2015/2/1

土地面積

土地面積には、不作付地や借入している土地を含む面積（耕作放棄地は除く）を記入してください。なお、所有している土地や、借入地・貸付地が多数ある場合は、農業委員会に登録した「農地基本台帳」の記載内容を参考に、土地面積の状況を記入してください。

※ 貸付地は、経営面積には含めず「貸付地（耕地）」に記入してください。

なお、「アグリノート」の出力データを利用する場合は、「土地情報1一般」下表のデータを参照し、記入してください。

●アグリノート出力データ：「土地情報1一般」

土地 グループ	土地 ID	表示名	台帳面積 (アール)	本地面積 (アール)	ピン・ 区画	登記地目	現況地目	土地区分	契約形態
稲作		水稻	134	130	区画	農地	農地	所有地	
稲作		水稻	77	75	区画	農地	農地	借地	
畑作		畑作	385		区画	農地	農地	所有地	

【8】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入 ①

調査票 P10、11

1 農作物

品目	説明	作付延べ面積 (a)	生産量 (kg)	販売数量 (kg)	販売金額 (円)
1 稲	主食用米	133	6910	6631	480000
	加工用米	10			10000
	飼料用米	10	600		10000
	WCS用稲	3			5000
2 麦	小麦	6	108	5025	219000
	大麦	0	2	76	77000
	雑穀	0	1	34	34000
	その他	-	0	1	1000
3 雑穀	そば	9	28	272	76000
	その他	-	-	-	-
4 豆	大豆	2	23	469	68000
	小豆	0	32	450	153000
	その他	-	-	-	-
5 いも類	かぼちゃ	1	32	8762	890000
	じゃがいも	1	80	27251	1010000
	さつまいも	-	89	48541	532000
6 工業農作物	とうもろこし	-	42	17950	386000
	その他	1	19		964000
7 その他	飼料用作物				
	その他				
8 茶	茶	38	1027	878	960000
9 果樹	りんご	73	68		420000
10 野菜	露地	102			4605000
	施設	1326			3956000
11 花き	露地	21			1753000
	施設	76			402000
	その他	-			13700

○ 農作物のうち、指定品目（果樹・施設野菜・施設花き）

指定品目名	露地キャベツ
① 作付延べ（結果樹）面積	36 a
② 生産量	19049 kg
③ 販売金額（円）	億 1454000

<食用米とは>

食用に供する水稻のことをいい、種子も含めた主食用米（政府備蓄米、新規需要米のうち酒造用米、輸出用米を含む。）、加工用米、米粉用米が該当します。

※ 食用以外の飼料用米、WCS用稲、バイオエタノール用等は含みません。

なお、くず米については、主食用米の販売金額に含めてください。

※ ただし、生産量及び販売数量には含めないでください。

作付面積、収穫量、販売金額

農作物の生産概況や販売金額等については、青色申告決算書（農業所得用）の「収入金額の内訳」や、収支内訳書（白色申告）の「収入金額の明細」を参考に記入してください。

上記に詳細に記入していない場合、作付面積（田畑別・用途別）は、「水稻生産実施計画書 兼営農計画書」等を参考に記入してください。

なお、「アグリノート」の出力データを利用する場合は、「出荷記録1 出荷先」及び「収穫記録」の2種類のデータ（下図 1, 2表）を参照し、記入してください。

※ 下表と調査票（左図）の参考数値は異なりますが、「アグリノート」では、作付別、出荷先別、品質別に細かく集計されますので、調査票に合わせて集計する必要があります。

表1. ●アグリノート出力データ：「出荷記録1 出荷先」

出荷ID	日付	作付ID	作付名	出荷先	科目	品質・規格	数量	単位	数量 (kg)	金額
26602	2020/10/20	81817	コシヒカリ2020	JA概算金	売上	主食用			65,000	17,460,000
26603	2020/10/15	81817	ヒノヒカリ2020	〇〇商店	売上	加工用			40,000	8,240,000
36089	2020/11/17	124874	あきたこまち2020	△△直売所	売上	飼料用			30,000	5,555,000

表2. ●アグリノート出力データ：「収穫記録」

収穫ID	日付	作付ID	作付名	作付面積 (アール)	品質・規格	入力 (数値)	入力 (単位)	入力 (kg)	圃場あたり (数値)	圃場あたり (単位)	圃場あたり (kg)
	2020/9/12		コシヒカリ2020	57.7	主食用	5400	kg	5400	2936.663525	kg	2936.663525
	2020/9/12		ヒノヒカリ2020	48.4	加工用	5400	kg	5400	2463.336475	kg	2463.336475
	2020/10/29		あきたこまち2020	100	飼料用	10000	kg	10000	4672.897196	kg	4672.897196

数量の換算が必要な農産物について（米、麦類、茶）

米、麦類、茶の生産量及び販売数量については、それぞれ玄米、玄麦、荒茶の数量を記入してそれ以外の形態で数量を把握している場合は、以下により換算した数量を記入してください。また、金額については、販売した金額をそのまま記入してください。

【米】 もみ1kg → 玄米 0.79kg 白米1kg → 玄米 1.10kg

【麦類】 小麦：精麦1kg → 玄麦 1.34kg

大麦：精麦1kg → 玄麦 1.77kg

裸麦：精麦1kg → 玄麦 1.50kg

【茶】 生葉1kg → 荒茶 0.239kg

農作物のうち、指定品目

指定品目がある場合、該当品目のみの面積、生産量、金額を記入してください。

ただし、指定品目がいも類、茶の場合には、記入不要です。

【8】生産概況、農畜産物収入及び農作業受託収入 ②

調査票 P12,13

2 畜産物

品 目		説 明	生産量 (kg)	販売頭数	販売金額 (円)
1 酪 農	生 乳	自家で飼養する乳牛から搾乳して生産したもの	3,941.1		403,350.00
			飼養頭数 (月平均)		
	搾 乳 牛	搾乳を行った牛	4.5		
	自家生産乳牛等	自家で生産した乳牛 (F1、未成畜のETを含む。) 、 搾乳牛、乳産牛		5.5	59,640.00
品 目		説 明	飼養頭数 (月平均)	販売頭数	販売金額 (円)
2 肉 用 牛	繁殖牛 (子とり)	繁殖用の雌牛	1.5		
	自家生産肉用牛等	自家で生産した和牛またはF1クロス牛、 繁殖用育成牛、歳用牛		1.1	89,310.00
	肉 専 用 種	肉専用種の牛	5.9	3.5	43,367.00
	乳 用 種	乳用種の牛	4.2	1.3	16,059.00
	交 雑 種	F1 (クロス種、交雑種) の牛	-	-	-
品 目		説 明	飼養頭数 (月平均)	販売頭数	販売金額 (円)
3 養 豚	繁殖雌豚	繁殖雌豚	9.7		
	肥 育 豚	肥育用の豚	10.0		
	肉	肉用の豚、歳用した豚のうち販売した豚		17.8	65,862.00
	子	肥育用、繁殖用もと畜として販売した子豚		-	-
品 目		説 明	飼養羽数 (月平均)	生産量 (kg)	販売金額 (円)
4 採 卵 養 鶏	採 卵	採卵用の鶏 (うずらは、その他畜産物に含める。)	143.2		
	鶏	採卵用の鶏から生産される卵 (正産卵以外の卵も含む。)、また、販売金額には、廃棄も含める。		2,417.8	52,084.00
品 目		説 明	販売羽数 (年間)	販売金額 (円)	
5	ブロイラー養鶏	ブロイラー、ブロイラーの種 (地鶏は含まない。)	22,882.8	110,581.0	000
品 目		説 明	販売金額 (円)		
6 そ の 他	きゅう肥 (ふん尿)	きゅう肥として販売したもの (自給肥料としたものは含まない。)	9.9	9,000.00	
	その他畜産物	地鶏、錦羊、うずら、やぎ、養蚕など	1.0	10,000.00	

3 農作業受託収入

科目	説明	収入金額 (円)
農作業受託収入		69,000.00

4 直接販売

(1) 直接販売の金額

金額 (円)	億	万	千	百	十
		3	7	5	0

販売金額に占める割合 (%)	
	4

(2) 販路別金額割合

直接販売 (全体)	小売業者	食品 製造業・ 外食産業	消費者に直接販売					その他
			自営 直売所	その他 直売所	インター ネット	他の 方法		
100%	60%	40%	—	—	—	—	—	—

畜産物の情報について

「アグリノート」では、畜産物に対応していません。

本ページ及び、営農類型別経営統計調査票 (個人経営体) 調査票記入の仕方を参照し、ご記入願います。

飼養頭数、販売頭数、販売金額

畜産物の飼養頭数や販売金額等については、青色申告決算書 (農業所得用) の「収入金額の内訳」や、収支内訳書 (農業所得用) の「収入金額の明細」、お手元の販売伝票などを参考に記入してください。

月平均飼養頭 (羽) 数は、月始めの飼養頭 (羽) 数の年間延べ頭 (羽) 数を12で除して記入してください。なお、搾乳牛には乾乳中の牛も含めてください。

事故畜の取り扱い

事故畜 (病気、けが等により出荷月齢に満たないまま淘汰された家畜) を、販売して収入があった場合は、販売頭数・金額に含めて記入してください。

販路別金額割合

販売金額に占める割合は、販路 (販売先) 別の金額を用いて求めますが、それぞれの金額がわからない場合は、販売した数量等の割合を記入してください。

販売先

(販売先の具体例)

小売業者・・・スーパー、コンビニ
食品製造業・外食産業・・・漬け物工場、レストラン
自営直売所・・・自営店舗、無人販売、自販機
その他直売所・・・道の駅、JAの直売所
インターネット・・・インターネット注文販売
消費者に直接販売の他の方法・・・電話の注文販売等
その他・・・学校給食、病院給食、老人ホーム給食等

【9】制度受取金・積立金等

調査票 P14,15

1 共通

区 分		制度受取金等（円）				制度積立金等（円）			
		億	万	千	百	十	億	万	千
1	農業共済		1	7	0	0		1	1
2	収入保険		1	5	0	0		1	5
3	多面的機能支払交付金・農地維持支払			2	0	0			
4	多面的機能支払交付金・資源向上支払			3	0	0			
5	中山間地域等直接支払交付金		1	6	0	0			

2 稲、畑作物等関連

区 分			制度受取金等（円）				制度積立金等（円）			
			億	万	千	百	十	億	万	千
6	畑作物共通	畑作物の直接支払交付金		1	1	8	4			
7		水田活用の直接支払交付金		1	2	0	0			
8		米・畑作物の収入減少影響緩和対策交付金			5	5	0		4	0
9	麦	国内麦流通円滑化特別対策			2	0	0		1	2
10	かんしょ	でん粉原料用いも交付金								
11	さとうきび	甘味資源作物交付金								
25		肉用牛経営安定対策補完事業		3	5	3	0		1	9
26	養豚	養豚経営安定対策事業（豚マルキン）			7	8	0		9	7
27	養鶏	鶏卵生産者経営安定対策事業		4	9	6	0		4	4

5 その他

区 分		制度受取金等（円）				制度積立金等（円）			
		億	万	千	百	十	億	万	千
28	上記（「1 共通」～「4 畜産関連」）以外の国の制度受取金・積立金等	①	2	0	0	0		6	0
29	国以外の制度受取金・積立金等	②	4	0	0	0			

制度受取金の取り扱い

制度受取金・積立金等の区分欄については、当年の制度金名を記入した調査票をお渡しします。

予め、加入等している制度受取金の番号を○で囲むなどして、記入漏れのないようお願いします。

また、国からの「制度受取金」は、国から届く「交付決定通知書」の「交付金額」欄（他の名称の場合もあります）の金額を転記してください。

「その他」の考え方

①には、「1 共通」～「4 畜産関連」までに明記されていない国からの制度補助金を記入してください。

例えば、燃油価格高騰緊急対策や耕作放棄地再生利用緊急対策などが該当しますので、複数ある場合は、合算して記入してください。

②には、国以外からの制度補助金を記入してください。

都道府県や市町村の単独事業といわれるものや、またJAからの助成金や、JTの葉たばこ廃作協力金などが該当します。複数ある場合は、合算して記入してください。

なお、大口奨励金など、販売促進やキャンペーンによるものは除きます。

【9】 制度受取金・積立金等 ② (指定品目のある場合)

調査票 P15

○ 指定品目の制度受取金・積立金等

指定品目名 露地キャベツ

制度受取金等 (円)					制度積立金等 (円)				
億	万	千	百	十	億	万	千	百	十
	1	5	8	0		1	0	7	0
			0	0				0	0

指定品目に係る	
受取金等 割合 (%)	積立金等 割合 (%)
10	10

指定品目の制度受取金・積立金等の金額の求め方

以下のような計算で制度受取金・積立金等の金額を求めることができます。

(例) 指定品目：露地キャベツの方で、制度受取金の交付を複数受けている場合。

■ 指定品目の販売価格の下落分を補てんする制度受取金

① 「野菜価格安定対策」

- ・ 受取金額 100,000円
- ・ 野菜価格安定対策対象野菜の作付延べ面積 180 a
露地キャベツ作付面積 150 a
- ・ 作付面積から露地キャベツ分の金額を推計

$$(150 \text{ a} \div 180 \text{ a}) \times 100 = 83\% \quad 100,000 \text{ 円} \times 83\% = \boxed{83,000 \text{ 円}}$$

■ 指定品目の面積に対して支払われる制度受取金

② 「水田活用の直接支払交付金 (うち産地交付金)」

- ・ 露地キャベツ作付面積 150a
 - ・ 産地交付金の露地キャベツ交付単価 10 a 当たり5,000円
- $$150 \text{ a} \times 10 \text{ a 当たり} 5,000 \text{ 円} = \boxed{75,000 \text{ 円}}$$

※指定品目の交付単価に指定品目の作付面積をかけて記入してください。

露地キャベツに関する交付金推計額の合計

$$\text{① } 83,000 \text{ 円} + \text{② } 75,000 \text{ 円} = \boxed{158,000 \text{ 円 (推計)}}$$

指定品目の制度受取金・積立金等の金額の求め方

指定品目の制度受取金・積立金等の金額が記入できない場合にのみ、販売した品目の作付面積等の適切な割合を記入してください。

【10】 労働の概要

調査票 P16

○ 1年間（決算期間）に事業に従事した者の性別、家族・雇用の別・・・

区 分	性 別	年 齢	家族・雇用の別				農 業 労働時間 (時間)	うち、 農作業受託 (時間)	農 業 生 産 関 連 事 業 労働時間 (時間)		
			家族 1	常用雇用者		臨 時 雇用者 4					
				7ヶ月 未満の 雇用者 2	7ヶ月 以上の 雇用者 3						
				いずれか1つに○を記入してください。							
経 営 主	☒ 男 ☒ 女	55 歳					9 0 0	2 0			
従事者 ①	☒ 男 ☒ 女	52 歳	①	②	③	④	1 8 0	-			1 2 0
従事者 ②	☒ 男 ☒ 女	25 歳	①	②	③	④	9 0 0	2 0			-
従事者 ③	☒ 男 ☒ 女	23 歳	①	②	③	④	1 9 0	-			1 0 0
従事者 ④	☒ 男 ☒ 女	47 歳	①	②	③	④	1 5 0	-			-
従事者 ⑤	☒ 男 ☒ 女	44 歳	①	②	③	④	-	-			1 2 0
従事者 ⑥	☒ 男 ☒ 女	75 歳	①	②	③	④	-	-			-
従事者 ⑦	☒ 男 ☒ 女	40 歳	①	②	③	④	2 0	-			-
従事者 ⑧	☒ 男 ☒ 女	40 歳	①	②	③	④	2 0	-			-
従事者 ⑨	☒ 男 ☒ 女	歳	①	②	③	④					
従事者 ⑩	☒ 男 ☒ 女	歳	①	②	③	④					
従事者 ⑪	☒ 男 ☒ 女	歳	①	②	③	④					
従事者 ⑫	☒ 男 ☒ 女	歳	①	②	③	④					
従事者 ⑬	☒ 男 ☒ 女	歳	①	②	③	④					
従事者 ⑭	☒ 男 ☒ 女	歳	①	②	③	④					
従事者 ⑮	☒ 男 ☒ 女	歳	①	②	③	④					

調査票に直接記入する場合

1年間の労働時間を、直接この調査票に記入できる方は、従事者ごとに、この欄に記入してください。

「労働時間等整理補助表」を使用する場合

労働時間等整理補助表を用いて、労働時間を日別又は月別に記録された方は、労働時間等整理補助表を担当の農林水産省職員、または専門調査員が記録しますのでお見せください。

※ 調査票に転記する必要はありません。

事業に従事した方の把握範囲

ここで把握する人数は、**農業以外の事業も含めて事業に従事した方**となりますが、労働時間は農業（農作業受託を含む。）及び農業生産関連事業についてのみ記入してください。

なお、15歳未満の家族の労働時間は把握しません。

※ 「性別」「年齢」「家族・雇用の別」欄までの記入の方（労働時間の記入がない方）が、**農業以外の従事者**（林業やアパート経営など）となります。

「アグリノート」の出力データを参照する

「アグリノート」の出力データを利用する場合は、サイドメニュー⇒「出力」⇒「帳票⇒作業別作業時間集計表」と進み、期間を指定して「生成⇒ダウンロード」してください。

集計データは、一つのExcelブックに作業別毎のシートで出力されます。データは、時系列、作業内容順に集計されています（下表参照）。なお、「農業労働時間」「農作業受託時間」「農業生産関連事業労働時間」は、Excelのフィルター機能を用いて区分けし、算出してください。

●アグリノート出力データ：「作業別作業時間集計表」

● 作業日誌

作業者

農林太郎

合計時間

900

合計日数

290

日付	作業内容	作業時間	開始時間	終了時間	休憩時間
2020年 03月05日	コシヒカリ2020 畑の準備	7:00	9:00	17:00	1:00
2020年 03月19日	コシヒカリ2019 防除	3:00	9:00	12:00	0:00
2020年 03月25日	コシヒカリ2020 育苗	8:00	9:00	18:00	1:00
2020年 04月01日	コシヒカリ2020 育苗	8:00	9:00	18:00	1:00
2020年 04月20日	コシヒカリ2020 代かき	10:00	8:00	19:00	1:00
2020年 04月21日	インカのめざめ2020 肥料散布	6:00	8:00	15:00	1:00
	インカのめざめ2020 圃場除草剤散布	3:00	15:30	18:30	0:00
2020年 05月01日	コシヒカリ2020 田植え	8:00	9:00	18:00	1:00
2020年 05月12日	農作業受託	3:00	10:00	13:00	0:00
	インカのめざめ2020 農薬散布	7:00	8:00	16:00	1:00
2020年 05月13日	観光農園 管理・清掃	3:00	17:00	20:00	0:00

【11】 指定品目に係る労働の概要

調査票 P17

1 家族・雇用者別労働時間

指定品目名		露地キャベツ									
区 分		計 (時間)			男 (時間)			女 (時間)			
家 族											
		7	9	9	6	0	0	1	9	9	
雇 用 者											
		8	9		8	9		-			

2 作業別労働時間

区 分	説 明	作業別労働 (時間)		
作 業 別 労 働 時 間 計	指定品目の農作業に係る労働時間の計	8	8	8
種 子 予 措 ・ 育 苗	選種、浸種、種子消毒、催芽、育苗	5	6	
耕 う ん ・ 施 肥 (基 肥 ・ 追 肥)	耕起、整地、畝立て、マルチ、基肥の配合、施肥、追肥 など	8	1	
は 種 ・ 定 植 整 枝 ・ せ ん 定	は種、定植、覆土、整枝、せん定、誘引、新梢管理 など	1	0	8
除 草 ・ 防 除	作付ほ場の中耕除草、除草剤散布、農薬散布、鳥獣害対策 など	7	4	
授 粉 ・ 摘 果	授粉、摘花、摘房、摘粒、摘果、葉つみ、ジベレリン処理 など	-		
生 育 管 理	かん排水、けい畔の草刈り・除草剤散布、ビニール張り など	5	0	
収 穫 ・ 調 製	収穫、結束、乾燥・調製、仮の収納場所への運搬 など	3	1	9
包 装 ・ 荷 造 り	包装、荷造り作業	7	8	
搬 出 ・ 出 荷 ・ 販 売	該当農産物の搬出作業、出荷作業、販売に係る労働	1	0	0
経 営 管 理 ・ 接 労 働	農機具修繕、資材等の調達、集会出席、技術習得、簿記記帳 など	2	2	

調査票に直接記入する場合

指定品目に係る1年間の労働時間を、直接この調査票に記入できる方は、以下のとおり記入してください。

- 1 家族・雇用者別労働時間：指定品目の総労働時間を家族・雇用者別、男女別に仕分けて記入してください。
- 2 作業別労働時間：指定品目の総労働時間を作業区分別に仕分けて記入してください。

「アグリノート」の出力データを参照する

「アグリノート」の出力データを利用する場合は、サイドメニュー⇒「出力」⇒「帳票⇒作業別作業時間集計表」と進み、期間と作付け（指定品目）を指定して「生成⇒ダウンロード」してください。

集計データは、一つのExcelブックに作業員毎のシートで出力されます。データは、時系列、作業内容順に集計されています（下表参照）。

※「作業別労働時間」に記入する際には、作業員別に出力されたデータ全員分の作業別労働時間を集計して、記入してください。

●アグリノート出力データ：「作業員別作業時間集計表」

作業員		農林太郎				
合計時間		900				
合計日数		290				

日付	作業内容	作業時間	開始時間	終了時間	休憩時間
2020年 03月05日	路地キャベツ 種子予措・育苗	7:00	9:00	17:00	1:00
2020年 03月19日	路地キャベツ 耕うん・施肥	3:00	9:00	12:00	0:00
2020年 03月25日	路地キャベツ は種・定植	8:00	9:00	18:00	1:00
2020年 04月15日	路地キャベツ 除草・防除	8:00	9:00	18:00	1:00
2020年 04月30日	路地キャベツ 受粉・摘果	10:00	8:00	19:00	1:00
2020年 05月10日	路地キャベツ 生育管理	8:00	9:00	18:00	1:00

「労働時間等整理補助表」を使用する場合

労働時間等整理補助表を用いて、労働時間を日別又は月別に記録された方は、労働時間等整理補助表を担当の農林水産省職員、または専門調査員が記録しますのでお見せください。

- ※ 調査票に転記する必要はありません。
- ※ 労働時間等整理補助表の作業区分等は農林水産省職員、または専門調査員等に相談してください。

【12】 農業生産関連事業収支 ①

調査票 P18

1 各農業生産関連事業の収入金額

区 分			収入金額(円)							割合 (%)	農業収 入に含 まれる		
1	農 産 加 工	農産加工事業の売上高	億		万	千	百	十					
				1	5	8	0	0	0	0	1	3	はい
2	観 光 農 園	観光農園、関連施設内での売上高				8	8	0	0	0		1	はい
3	貸 し 農 園	貸し農園の売上高								-		-	はい
4	農 家 民 宿	農家民宿での売上高								-		-	はい
5	農 家 レ ス ト ラ ン	農家レストランでの売上高								-		-	はい
6	そ の 他	上記以外の売上高				6	3	0	0	0		1	はい

農業生産関連事業の収入（収入金額に対する割合）

「農業生産関連事業」による収入を区分別に金額で記入できない方は、「割合」欄に、調査票 8 ページの【4】事業収支の概要「④ 収入金額計」に占める、区分別の収入割合を記入してください。

調査票 8 ページの、【4】事業収支の概要

事 業	営 業 等	①	卸売業、製造業、小売業、林業、漁業など農業以外の事業の収入	億 万 千 百 十
収 入	農 業	②	農業収入	1 7 6 1 0 0 0
金	不 動 産	③	不動産収入	1 0 2 9 3 3 0 0
額	収 入 金 額 計	④	①+②+③	1 2 0 5 4 3 0 0

この金額に占める区分別の農業生産関連事業収入の割合を記入してください。

農業生産関連事業の収入（農業収入に含まれるかの確認）

「農業生産関連事業」の収入金額が、調査票 8 ページの「収入金額」の「事業」の「農業②」に含まれている場合は、「はい」に○を記入してください。

農産加工の収入を「営業等収入」に金額を含め、観光農園の収入は「農業収入」に含めた場合の例

2 農業生産関連事業の支出金額

区 分		支出金額(円)	経費 割合 (%)	割合 (%)
農 業 生 産 関 連 事 業 支 出 合 計	農業生産関連事業の支出合計	億 万 千 百 十		
商 品 仕 入	仕入販売する商品の仕入額	6 9 5 0 0 0 0	5 3	
材 料 費	事業で消費した材料費	2 8 6 0 0 0 0	2 2	
うち 自 家 農 畜 産 物	材料費のうち、自らが生産した農畜産物	2 8 6 0 0 0 0	2 2	
雇 人 費	事業に従事した者の労働時間分	2 3 3 0 0 0 0	1 8	
外 注 費	事業に付随して行った外注経費	-	-	
減 価 償 却 費	事業で利用した設備、施設等の減価償却費	1 0 3 0 0 0 0	8	
そ の 他	上記以外の支出額	-	-	

農業生産関連事業の支出（経費に対する割合）

「農業生産関連事業支出合計」を金額で記入できない方は、「経費割合」欄には、調査票 8 ページの【4】事業収支の概要「⑨経費」に占める、「農業生産関連事業支出合計」の割合を記入してください。

調査票 8 ページの、【4】事業収支の概要

所 得	営 業 等	⑤	農業以外の事業の収入から、その事業に投じた費用を差し引いた金額	億 万 千 百 十
金 額	農 業	⑥	農業収入から、農業に投じた費用を差し引いた金額	4 4 4 0 0 0 0
所 得 金 額 計	不 動 産	⑦	不動産収入から不動産に投じた費用を差し引いた金額	2 7 2 0 8 4 8
	所 得 金 額 計	⑧	⑤+⑥+⑦	3 1 6 4 8 4 8
	経 費	⑨	④-⑧	8 8 8 9 4 5 2

この金額に占める区分別の農業生産関連事業支出合計額の割合を記入してください。

農業生産関連事業の支出（割合）

支出金額を記入できない方は、農業生産関連事業支出合計を100%として、経費割合を記入してください。

【12】 農業生産関連事業収支 ②

調査票 P19

3 農業生産関連事業の概況について・・・

区 分			関連事業 の 概 況		区 分	関連事業 の 概 況	
農産加工	農産加工場年間稼働日数	加工場の稼働日数		30	農家民宿	年間営業日数	農家民宿の営業日数
観光農園	年間営業日数	観光農園の営業日数		2	農家レストラン	年間宿泊者数	年間の宿泊者数
	年間利用者数	年間の利用者数		20		年間営業日数	農家レストランの営業日数
						年間利用者数	年間の利用者数

4 農産加工を行っている方のみ・・・

農産加工品の名称	
1位	米みそ
2位	米 粉

農産加工を行っている方みの記入欄

農産加工品の名称は、下図にある食品表示ラベルの名称を記入してください。

食品表示ラベルの記載例

無添加 房総仕込み

名称 米みそ

原材料名 大豆、米、食塩

内容量 750 g

賞味期限 2018.12.10

製造者 房総味噌株式会社

千葉県南房総市富浦町123

× こちらは商品名

○ こちらの名称を記入してください。

農業生産関連事業とは

農産加工

- 自家で生産した原料を用いた農産加工品を自家で販売している事業をいいます。
- なお、自家で加工を行うものの最終的な商品としては販売しないもの（荒茶、白干し梅等）については農産加工とはせず農業に含めてください。

観光農園

- 自家で生産した農産物について、観光客等を対象に、ほ場において収穫等の一部の農作業を体験させて代金を得ている事業をいいます。

貸し農園

- 農地を、第三者を経由せず農園利用方式等により農家以外の者に貸し付け、その利用料金を得ている事業をいいます。
- なお、自己所有の農地を他の農家に貸し付けて収入を得ている場合や、市町村や農協など第三者に貸与している場合は該当しません。

農家民宿

- 旅館業法に基づき、旅館等の許可を得て、観光客等を宿泊させ、自ら生産した農産物や地域の食材を調理し、料理を提供して代金を得ている事業をいいます。
- 上記以外の民泊等は除きます（農家が単に宿泊させただけのものは、農業生産関連事業と見なしません。）。

農家レストラン

- 食品衛生法に基づき、飲食店営業又は喫茶店営業の許可を得て、自ら生産した農産物や地域の食材を用い、飲食を提供して代金を得ている事業をいいます。

その他

- 上記以外の農業生産関連事業をいいます。